

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E112M013		住居学 (製図を含む。) (Housing and Living Design)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	2	3	教育学部			氏名 川田 菜穂子 E-mail kawata@oita-u.ac.jp 内線 7608											
授業の概要	住まいの機能と役割、住まいと家族の変遷、住まいと環境、住まいの計画などについて理解し、これからの住まいのあり方について展望する。やさしい住宅設計・製図の演習課題に取り組む。家庭科の住生活領域に関する授業実践に必要な基礎的知識や技術について学ぶ。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 家庭科の住生活領域に関する授業実践に必要な基礎的知識を説明できる。																	
目標2 住まいの機能と役割を知り、住居学の意義について説明できる。																	
目標3 住まいと家族の変遷の概要を説明できる。																	
目標4 住宅設計・製図の基礎的知識を習得し、簡単な住宅の平面図を描くことができる。																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 はじめに 住居学・住教育の意義																	
2 住まいの機能と役割/気候風土と住まい																	
3 わが国の住まいと家族の変遷(1) 古代~近代																	
4 わが国の住まいと家族の変遷(2) 近代~現代以降																	
5 住まいの安全性																	
6 住まいと環境(1) 日照・採光																	
7 住まいと環境(2) 通風・換気・音																	
8 家族・ライフスタイルと住まい																	
9 設計・製図の基礎																	
10 演習(1) 住まいのリフォーム計画(製図演習)																	
11 演習(2) 住まいのリフォーム計画(製図演習)																	
12 住まいの維持・管理																	
13 住まいと地域・コミュニティ																	
14 住まいと災害・復興																	
15 まとめ これからの住まいと住教育																	
ラ ブ ニ テ ン シ ブ	A:知識の定着・確認	演習、製図、ディスカッション、プレゼンテーション、住宅計画の提案					工 夫 そ の 他 の										
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	住まいに関する著書や新聞記事などを読み、予習する(15h)。															
	事後学修	授業中に課された演習課題に取り組む(15h)。															
教科書	教科書は指定しない。 授業中に配布するプリントを使用する。																
参考書	中学校学習指導要領、および解説(技術・家庭編) 高等学校学習指導要領、および解説(家庭編) その他、授業中に適宜紹介する。																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	定期試験	50%															
	演習	30%															
	レポート	20%															
注意事項	製図板(平行定規)を貸し出すが、取り扱いには注意し、適切に使用・保管・返却すること。																
備考	鉛筆、消しゴム、定規、その他必要な筆記用具を持参すること(詳細は授業中に指示する)。																
リンク																	
	URL																

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の实務 経験	住宅企業勤務